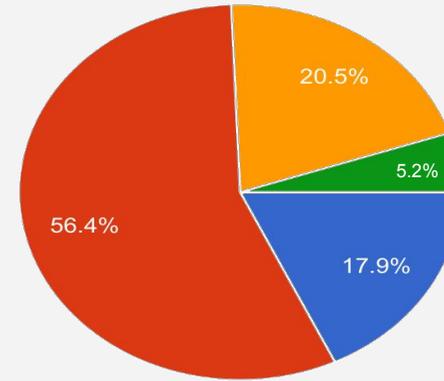


～現状～

【生徒】

- ・課題提出率に個人でばらつきがある
- ・提出さえすれば良いという考え方をしているため内容の理解度が疑わしい
- ・提出した課題に対しご褒美や達成感が欲しい

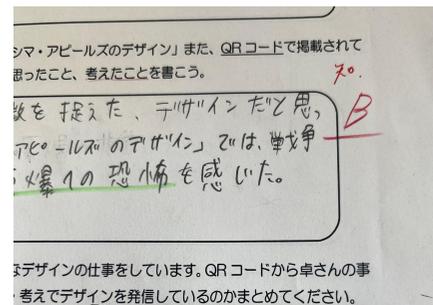
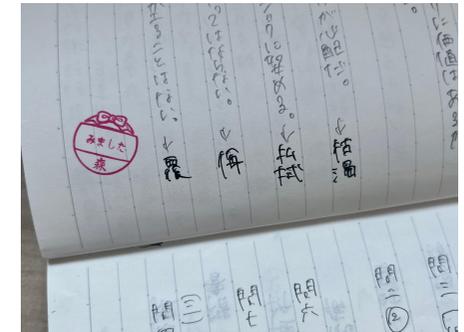
現在の自分の課題への取組状況についてアンケート



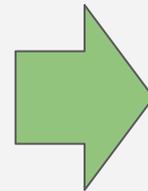
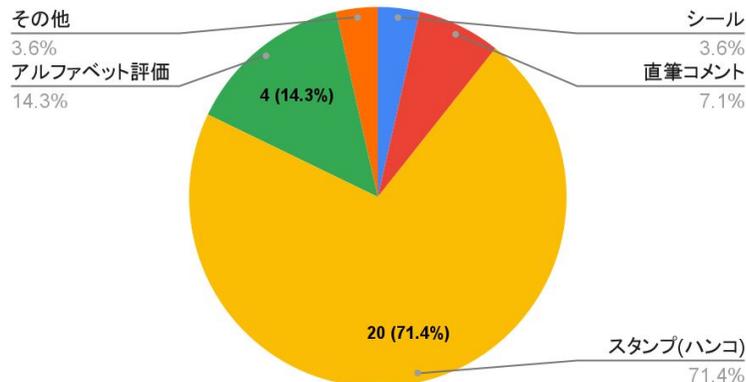
- 課題の内容を理解するまで取り組んでいる
- 課題を自力で期日までに取り組んでいる
- 期日を守って提出はしている
- 期日を過ぎて提出はしている
- 取り組まない

【先生】

- ・勤務形態の問題上、スタンプを押す程度の時間しかない
- ・評価が義務的な作業になっている



課題評価方法



～理想～

【生徒】

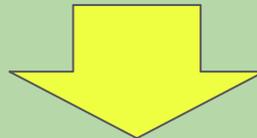
- ・積極的に、忘れず課題を提出しておりさらに学習に対する意欲向上につなげる

【先生】

- ・課題チェックの労力削減
- ・学ぶことへの関心を深めるきっかけづくり



理想を実現させるためには...



- ・個人の課題チェックの評価に先生方それぞれのオリジナリティがあれば、特別感や達成感を得られるのではないか
- ・課題提出を通して先生とのコミュニケーションを可能にする
- ・ハンコ(スタンプ)やシールなどの評価方法であれば先生の課題チェックの労力を削減することができるのではないか

生徒と先生の新しいコミュニケーション

福笑いスタンププラス+

いつもの単純なスタンプに3つの要素をプラス



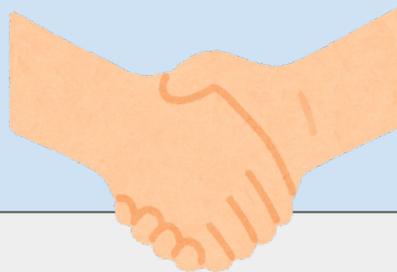
【福笑い要素】

遊び心や個性をプラス



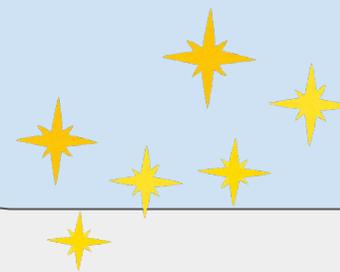
【コミュニケーション】

先生の心情を読み取れる



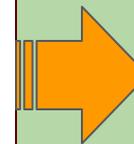
【特別感】

唯一無二のスタンプ



目や鼻などのパーツを一つずつ分解し、複数のスタンプを使用し一つの顔を作成する

⇒課題を提出する度にパーツを一つずつ押していく



課題を出す毎に押す
パーツ

- 1回目：輪郭・髪型
- 2回目：眉毛
- 3回目：目
- 4回目：鼻
- 5回目：口

★スタンプの押し方の例

ひと目で英語担当の先生だと分かるデザインをプラス



課題提出をしっかりとっている人



提出期限を過ぎた人



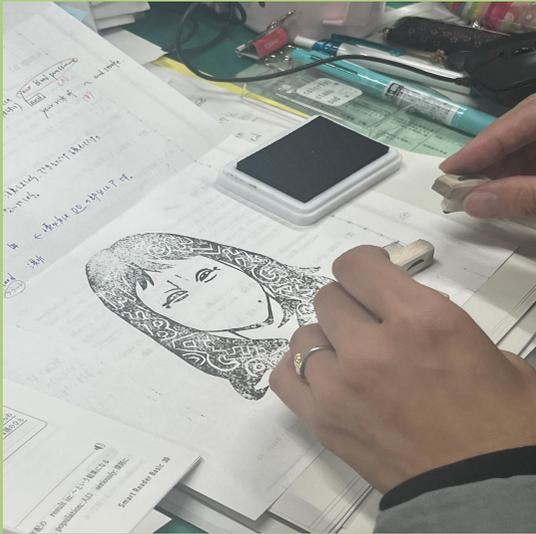
内容が良くない人

眉毛、口の部分は向きを変えてすることで
喜怒哀楽を表現できる

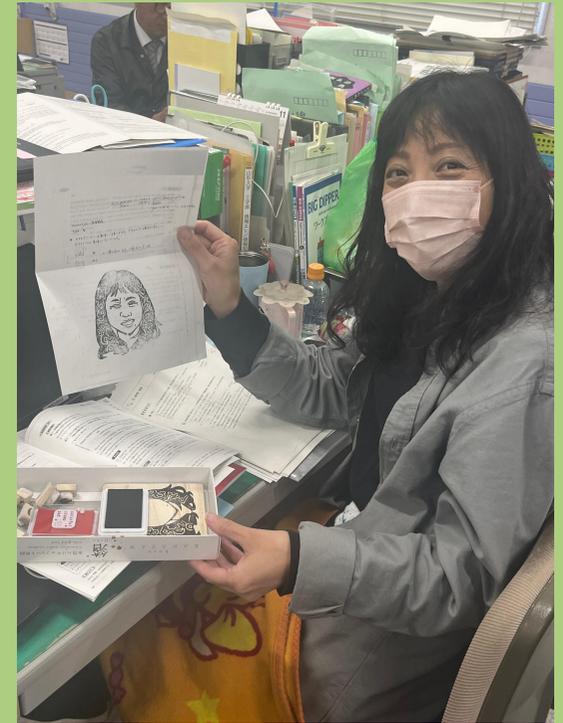
効果： 例えば課題の提出期限を過ぎた後に提出した場合、パーツ(目、眉毛など)を逆さの向きにして押し、先生的心情(怒りや悲しみ)をスタンプを通して伝えることができる

顔の完成具合で生徒がどれくらい課題を提出したのか、提出期限を守っているかわかる

持ちやすい・運びやすい
サイズ感



自分の好きなように
カスタマイズ可能



課題を提出する生徒側も課題のチェックをする先生側も、
この福笑いを模したスタンプを活用することで作業に楽しみや遊び心が生まれ精神的な負担を減らすことが期待される

さらに

生徒側では、顔の完成度具合から課題を提出したことの**達成感**や次の課題提出への**モチベーション**を作り出すことができる

先生側では、課題チェックにかかる時間削減や生徒に向けた心情をスタンプを通して伝えることができ**間接的なコミュニケーションが可能になる**